

# 指定管理者が行う公の施設の管理状況報告（令和2年度分）

## <県の評価等>

施設所管部名： 県土整備部

### 1 指定管理者の概要等

施設の名称及び所在	県営都市公園 大仏山公園（多気郡明和町新茶屋他地内）
指定管理者の名称等	有限会社太陽緑地 代表取締役 吉川 信吾（伊勢市下野町600-13）
指定の期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日
指定管理者が行う管理業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園の維持修繕及び巡視点検に関する業務</li> <li>・公園の利用者への案内に関する業務</li> <li>・条例に基づく公園の利用時間の変更、公園内の行為の制限、利用の禁止又は制限</li> <li>・公園施設のうち野球場、テニスコート及びゲートボール場の利用の許可</li> <li>・公園の利用の促進</li> <li>・その他の業務</li> </ul>

### 2 施設設置者としての県の評価 ※指定管理者が変わった場合、前年度の評価は斜線を記入しています。

評価の項目	指定管理者の自己評価		県の評価		コメント
	R1	R2	R1	R2	
1 管理業務の実施状況	B	B			適切に植物管理を行うほか、2か月に1度、専門業者による遊具点検を実施した他、新たに管理棟窓口に荷物置き場を設置するなど、利用者に配慮した施設管理に努めた。
2 施設の利用状況	B	B			ホームページ・SNSによる情報発信や感染防止対策を徹底してテニス教室を実施し、集客に努めた。
3 成果目標及びその実績	B	C		+	新型コロナウイルス感染症の影響により、成果目標に達していないものの、管理業務や施設利用を適切に実施し、利用の促進に努めた。

※「評価の項目」の  
 県の評価： 「+」（プラス） → 指定管理者の自己評価に比べて高く評価する。  
 「-」（マイナス） → 指定管理者の自己評価に比べて低く評価する。  
 「 」 （空白） → 指定管理者の自己評価と概ね同じ評価とする。

総合的な評価	<p>（指定管理者の評価に対する県の評価）</p> <p>指定管理者においては、「管理業務の実施状況」及び「施設の利用状況」をB評価とし、「成果目標及びその実績」をC評価としている。</p> <p>「管理業務の実施状況」については、業務仕様書に基づき植物管理や施設管理を適切に行っており、指定管理者の自己評価と同じ評価とした。</p> <p>「施設の利用状況」については、新型コロナウイルス感染症の影響によるイベントの中止や施設の一時閉鎖など、集客が困難な状況の中、感染防止対策を徹底した上でのテニス教室の開催や公園の見どころをホームページ・SNSで情報発信を行い、集客に努めたことから、指定管理者の自己評価と同じ評価とした。</p> <p>「成果目標及びその実績」については、新型コロナウイルス感染症の影響により、成果目標に達していないものの、管理業務や施設利用を適切に実施し、利用の促進に努めたことから、指定管理者の自己評価に比べて高いB相当と評価した。</p> <p>（今後の課題又は指定管理者への期待）</p> <p>利用者の安全・安心を確保するため、施設の老朽化に対する適切な修繕及び維持管理を期待する。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により利用者の確保が困難な状況ではあるが、感染症拡大防止のための対策を実施しつつ、利用者拡大に向けた取組を期待する。</p>
--------	--

# <指定管理者の評価・報告書（令和2年度分）>

指定管理者の名称：有限会社太陽緑地

## 1 管理業務の実施状況及び利用状況

### (1) 管理業務の実施状況

#### ① 大仏山公園事業の実施に関する業務

- ・広報、ホームページ等で周知されてきた年2回の大型イベントや、その他「星の観察会」や、「ミニ門松教室」など全て新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止した。
- ・「テニス教室」はコロナ禍の中でも1面8人までの利用制限等感染防止対策を徹底した上で、年4回開催(通常年は5回)でき、平日の昼間の利用促進につなげた。
- ・花の開花状況等の公園の見どころをホームページ・SNSで広報を行った。
- ・令和2年度は新たに、管理棟窓口に荷物置き場を設置し、好評である。

#### ② 施設及び設備の維持管理及び修繕に関する業務

- ・公園全体で快適な景観を維持できるよう、緑地管理を適宜行った。
- ・当公園は遊具の数が多く利用者も多いため、引き続き2ヶ月に1度は専門業者が点検しており、利用者が安全かつ快適に利用できるように努めている。
- ・職員による1日の巡回回数を夏場は7回、冬場は5回実施し、園内の安全管理の強化に努めている。
- ・修繕については、第四駐車場及び遊歩道の照明灯取替、多目的広場の照明灯及び安定器取替、子供広場遊具の2連ブランコ座板金具交換、複合遊具ステップ滑り止め加工、多目的広場4連ブランコ座板等交換、野球場バックネット裏付近タイル剥離修繕を行った。

#### ③ 施策への配慮に関する業務

- ・「持続可能な循環型社会の創造に向けた環境保全活動」として、緑地管理で発生した刈草や枝葉は園内の森林地に敷き、自然に帰すようにしている。
- ・「男女共同参画社会の実現」として、職員の採用については男女関係なく採用するようにしている。

#### ④ 情報公開・個人情報保護に関する業務

- ・大仏山公園の管理に関する情報公開実施要領に基づき対応している。令和2年度の開示請求は0件であった。
- ・個人情報保護管理マニュアルを作成し、職員に周知している。

#### ⑤ その他の業務

新型コロナウイルス感染症に伴う施策の遂行

- ・ポスター掲示 ホームページ掲載 遊具使用禁止（一時的）、管理従事者健康チェック、有料施設（野球場、テニスコート）の使用禁止（一時的）、利用者へマスク着用の呼びかけ、従事者のマスク着用の徹底

### (2) 施設の利用状況

<目標>

年間公園利用者数 21万5千人

<実績>

年間公園利用者数 192,905人（前年度：216,216人 対比：89.2%）

<内訳>

園内利用者数 177,230人（前年度：194,180人 対比：91.3%）

野球場 5,340人（前年度：9,241人 対比：57.8%）

テニスコート 10,208人（前年度：12,402人 対比：82.3%）

ゲートボール 127人（前年度：393人 対比：32.3%）

## 2 利用料金の収入の実績

〈目標〉	利用料金収入	5,300,000円
〈実績〉	利用料金収入	3,996,190円
(内訳)	野球場	890,450円
	テニスコート	3,105,740円

## 3 管理業務に関する経費の収支状況

(単位：円)

	収入の部		支出の部		
	R1	R2		R1	R2
指定管理料	44,550,000	45,296,000	事業費	33,682,460	33,833,250
利用料金収入	4,648,210	3,996,190	管理費	18,370,628	17,854,398
その他の収入	3,107,500	2,449,300	その他の支出	0	0
合計(a)	52,305,710	51,741,490	合計(b)	52,053,088	51,687,648
収支差額 (a)-(b)	252,622	53,842			

※指定管理者が変わった場合、前年度の収支状況には斜線を記入しています。

※参考

利用料金減免額	—
---------	---

## 4 成果目標とその実績

成果目標	年間公園利用者数 21万5千人
成果目標に対する実績	年間公園利用者数 192,905人
今後の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスが収束すれば各イベント等を復活していきたい。またコロナ禍の中であっても「星の観察会」や「ミニ門松教室」など新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じれば行えそうなものは協議し開催していきたい。</li> <li>・老朽化対策及び修繕時期等を県と協議していく。</li> <li>・安心かつ安全に公園を利用してもらうため、防犯対策を県と協議していく。</li> <li>・公園内の緑地管理及び維持管理をより充実させるため、近隣の自治会に働きかけ、作業協力者を求めていく。</li> </ul>

5 管理業務に関する自己評価 ※指定管理者が変わった場合、前年度の評価は斜線を記入していません。

評価の項目	評価		コメント
	R1	R2	
1 管理業務の実施状況	B	B	維持管理としては、7月は雨天が多く8月は酷暑であったため若干効率は悪くなったが人員を増やすなどして利用者に配慮した緑地管理ができた。 運営管理としては、コロナ禍の中、利用者への丁寧な対応を心がけ、十分な感染対策を図っているため、トラブル等もなく管理している。修繕についても電気関係、遊具関係などがあり、その都度迅速に対応した。またタイルの剥離修繕など自社で出来る範囲の事は行き、経費削減に努めている。
2 施設の利用状況	B	B	新型コロナウイルス感染症の影響により予定した全てのイベントを中止せざるを得ない状況ではあったが、例年、年5回開催していた「テニス教室」を4回開催したりするなど、コロナ禍でもできる取組を行った。
3 成果目標及びその実績	B	C	年間公園利用者数は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の影響による施設の利用者の減少もあり192,905人で、令和元年度の216,216人より23,311人減少し、目標の21万5千人を達成できなかった。成果目標に対する達成率は89.7%であった。 「星の観察会」「ミニ門松教室」など新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をすれば行えそうなものを継続していくとともに、新たな小規模イベント(教室)の開催を検討し、利用拡大につなげていきたい。

※評価の項目「1」の評価：  
「A」→業務計画を順調に実施し、特に優れた実績を上げている。  
「B」→業務計画を順調に実施している。  
「C」→業務計画を十分には実施できていない。  
「D」→業務計画の実施に向けて、大きな改善を要する。

※評価の項目「2」「3」の評価：  
「A」→当初の目標を達成し、特に優れた実績を上げている。  
「B」→当初の目標を達成している。  
「C」→当初の目標を十分には達成できていない。  
「D」→当初の目標を達成できず、大きな改善を要する。

総括的な評価	<p>●上記の評価に至った根拠・理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運営管理、維持管理、修繕業務とも適切に行っている。</li> <li>・園内公園利用者数は令和元年度より23,311人も減少し、成果目標を達成できなかった。緊急事態宣言に伴う有料施設の一時休業や利用者の自粛の影響が大きかったと考えられる。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行ったうえで実施可能である、新たな自主事業を検討し、利用拡大につなげていきたい。</li> </ul> <p>●残されている課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経年劣化に伴う施設修繕費の増加。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響により有料施設(野球場)の利用者が減少していることから、利用促進に向け対策を検討する必要がある。</li> </ul> <p>●その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も安全・安心はもとより環境にも配慮しつつ、利用者に快適と感じて頂けるような管理を継続していく。</li> <li>・遊具年次点検の結果を踏まえ、修繕が必要な部分については県と協議して改修等を要望していく。</li> <li>・施設修繕について、自社でできる範囲の事は行き、経費節減に努めていく。</li> </ul>
--------	---